

講義コード	11C0130700	授業形態	講義	事前登録の有無	あり	担当教員	元木 靖	開講期	第1期
科目名	特殊講義7〈環境政策1〉					元木 靖	第1期		
履修前提条件						備考			
授業の目的	この講義では、環境政策を単に個別の環境問題を解決するための技術政策としてだけではなく、自然－人間関係をめぐる社会の変容に対処していく上で欠かすことのできない総合的政策であることについて、理解を深めることを目指します。第1期では基本的な論点と事例を挙げて紹介し、第2期では多様な環境問題を取り上げ解説します。								
到達目標	①「環境」とは何か、についての基本的・原理的な理解ができる。 ②「環境政策」とはどのような学問分野かについて理解し、併せて環境政策がもつべき総合性について、具体的なイメージを発想することができる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	この科目では、60時間以上の授業外学修を行うこと。講義はシラバスの計画に沿って進めるので、各回のテーマについて事前に関連図書、インターネット、新聞情報等を通して、各自が問題関心をもって講義に参加するように心がけること。								
授業計画	【第1回】はじめに－講義のすすめかた－ 【第2回】「環境」とはどのようなことか？ 【第3回】人類最初の「環境」とは何であったか？ 【第4回】人類のための環境の創造－開発と地域の意味－ 【第5回】歴史を貫く環境政策の基本－個体維持－ 【第6回】現代の環境を特徴づける経済と政策 【第7回】文明の進歩と環境変化と環境政策 【第8回】人口の増減と農地の増減と環境政策 【第9回】夏期休暇中の課題－内容と作成方法－ 【第10回】日本－「食」をめぐる現代の環境政策－ 【第11回】イギリス－食糧・環境政策の転換について 【第12回】アメリカ－問われ始めた新しい食の運動 【第13回】中国－農業・食糧問題に関する諸見解 【第14回】《質問と討論》 【第15回】まとめ								
成績評価の方法	レポートまたはテスト（80％）と授業への取り組み姿勢（20％）による。								
フィードバックの内容									
教科書	なし								
指定図書	『環境経済学入門－経済成長と環境破壊－』白井義彦訳（東京大学出版会）1975年、『環境学 第3版』市川定夫（藤原書店）1999、『環境経済・政策学の基礎知識』環境経済政策学会（有斐閣）2006、『食の環境変化日本社会の農業的課題－』元木 靖（古今書院）2006、『サステイナビリティの経済学 人間の福祉と自然環境』植田和弘訳（岩波書店）2007、『東アジアの経済発展と環境政策』森 昌寿編（ミネルヴァ書房）2009、『中国変容論－食の基盤と環境－』元木 靖（海青社）2013								
参考書	随時紹介する。								
教員からのお知らせ	地域環境学A、B（あるいは、AまたはB）を合わせて聴講することで、環境に関する理解をさらに深めることが期待できます。								
オフィスアワー その他	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								